

せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 HP : <http://okayama.kenren-coop.jp/>

仲秋の吉備路



(吉備路風土記の丘をのぞむ)

エッセイ 散策

安場 靖(岡山県生協連 会長理事)

国連が2012年を「国際協同組合年」とすることを決め、国内では、協同組合をはじめ、NPO等の非営利・協同の団体や協同組合の発展に期待を寄せる方たちが参加して、昨年8月に全国実行委員会が発足しました。

岡山県でも10月13日に県内の協同組合連絡協議会が呼びかけ、学識者、マスコミ関係の方々の参加で実行委員会が立ち上りました。(次ページをご参照ください)

「国際協同組合年」は、世界の抱える貧困、金融、経済危機、食糧危機、気候変動などをはじめとする現代社会の重要な課題の解決にむけて、協同組合が大きな役割を果たすことを期待して宣言されたものとされています。

協同組合発祥の地である1844年頃のイギリスは、産業革命のもとでの貧富の格差、食料難など社会不安が渦巻いていた時期でした。それから170有余年の現在、日本も世界も、経済・金融不安、環境・食料不安がひろがり、経済、環境、流通、通信等のグローバル化を背景に、生産分野も消費分野も歪ともいえる発展過程を辿りながら、私たちの棲む地球未来に、警鐘の音が鳴り響いています。

このような時に、協同組合が果たしてきた役割が国際的に評価され、今日の困難を克服する術を協同組合に期待しようとする動きがあることは大きな喜びでもあります。これをチャンスに、協同組合の価値と原則を多くの団体や市民に知っていただき、くらしの中に浸透していくことを心から願うものです。

全国実行委員会は、この機会に「協同組合憲章」の制定をめざして草案を策定中で、全国的議論を呼びかけています。

「共助」、「協同」とは、「対等平等」、「同盟」とは、「情報のあり方、捉え方」とは、など考えてみたい、秋の夜長です。

2012年「国際協同組合年」に向け 岡山県実行委員会が発足!

10月13日(木)ピュアリティまきび(岡山市)において第1回実行委員会が開催されました。岡山県農業協同組合中央会、岡山県漁協組合連合会、岡山県森林組合連合会、岡山県生活協同組合連合会の代表者をはじめ、岡山県、大学、マスコミ関係者など26名が出席しました。

実行委員の紹介のあと、発起人を代表してJA岡山中央会堀川進会長より「協同組合の役割を広く県民にアピールするために実行委員会を設置した。国際協同組合年の主旨に沿った事業展開をしていきましょう」と挨拶がありました。



来賓の岡山県農林水産部足羽憲治部長からは「協同組合は大きな期待をされている。国際協同組合年を契機に地域でしっかりとつながり、貢献できるようになればと思っている。交流がいっそうすすみ、実り多くなることを望みます」と祝辞が述べられました。

実行委員会では、次の三つの議案について承認されました。

第1号議案 2012国際協同組合年実行委員会規約の承認について

第2号議案 役員の選任について

第3号議案 2012国際協同組合年に向けた今後のすすめかたについて

代表には千葉喬三就実学園理事長が就任、副代表は4協同組合連合会から1名ずつ選ばれ、県生協連より安場靖会長理事、三橋幸夫おかやまコープ理事長が監事に就任しました。

行動計画では、協同組合を広く県民に理解してもらうため、作文・論文コンクールの実施、協同組合大会(講演会・シンポジウム他)、協同組合フェスティバル、東日本大震災復興支援の取り組みなどが予定されています。



また、「若者:協同組合の未来」をテーマに、千葉代表の記念講演もあり、各連合会の役職員など約70名が参加しました。

閉会にあたり安場副代表より、全国実行委員会では、「協同組合憲章」の制定をめざしている。憲章草案の中では、協同組合が「新しい公共」の担い手として役割を果たすこと、政府は協同組合の価値と原則を尊重すべきこと、尊重すべき行動指針として協同組合に関する教育を学校教育に導入することなどが述べられている。草案の普及と共に、すべての県民に協同組合の精神を知つてもらえるよう努力をしたいと決意を込めて挨拶がありました。



3号議案を提案する県生協連
安場会長

2012国際協同組合年岡山県実行委員会委員

氏名	所属団体名・役職名
石井秀治	J A岡山県青壮年部協議会 会長
和泉伸子	倉敷医療生活協同組合 理事
井手紘一郎	岡山県森林組合連合会 代表理事長
大田弘之	テレビせとうち株式会社 代表取締役社長
小野一郎	全国共済農業協同組合連合会岡山県本部 運営委員会会長
兼本伸樹	N H K 岡山放送局 局長
川野芳樹	農林中央金庫岡山支店 支店長
神崎浩	岡山大学 附属図書館 館長
木村高清	岡山医療生活協同組合 専務理事
清瀬民夫	倉敷医療生活協同組合 副理事長
越宗孝昌	山陽新聞社 代表取締役社長
瀬良静香	J A岡山県女性組織協議会 会長
武部吉治	三井造船生活協同組合 理事長

氏名	所属団体名・役職名
田中敦子	生活協同組合おかやまコープ 理事
千葉喬三	学校法人 就実学園 理事長
千葉靖代	おかやま酪農業協同組合 代表理事組合長
鳥越良光	岡山商科大学大学院 教授
難波洋平	岡山県漁業協同組合連合会 専務理事
原憲一	山陽放送株式会社 代表取締役社長
原田克也	岡山日日新聞新社 代表取締役社長
堀川進	岡山県農業協同組合中央会 会長
三橋幸夫	生活協同組合 おかやまコープ 理事長
宮内正喜	岡山放送株式会社 代表取締役社長
三宅通	岡山県J A組合長協議会 会長
薬師寺眞人	全国農業協同組合連合会岡山県本部 運営委員会会長
安場靖	岡山県生活協同組合連合会 会長理事

2011年10月13日現在 あいうえお順 利用目的:この名簿は、主催者において実行委員の人数等の確認・集計、その他関係者への情報提供に使用します。

最近の行事・取り組みから…

●医療生協非常勤理事研修会(10月13日～14日・岡山国際ホテル)

生協連医療部会主催で、岡山国際ホテルを会場に2日間の宿泊研修が開催されました。



分らることは聞いて…と久保田さん

一日目は「医療福祉生協および非常勤理事の役割」と題した、久保田滋さん(元倉敷医療生協専務理事)の講演。「分らないことは聞く、総代会決定の実践・目標達成に責任を持つことが大切」などと話をされ、東日本大震災・原発問題などの情勢にも触れられました。

二日目は「協同組合の歴史と協同組合原則について」と題した、吉永紀明さん(県生協連顧問)の講演。

豊富な経験と深い知識に基づいたお話で、「本で勉強するより分りやすい。」「歴史や協同組合原則が良く分った。」などと好評でした。



吉永 紀明さんの講演



それぞれの講演後のグループワークでは、どのグループも活発な交流がなされ、参加者は「他生協理事に大いに元気付けられた。」「教育の大切さを学んだ。」と全体を通して充実した研修会となりました。

●第25回岡山県消費者大会(10月21日 10:00～12:30 オルガホール)

17団体173名の参加のもとに開催されました。

会場ロビーには、倉敷医療生協による健康チェックコーナーが設けられました。



開会挨拶の瀬良代表幹事

大会は、代表幹事でJA県女性組織協議会会長の瀬良静香さんの開会挨拶について、NPO法人気候ネットワーク代表 開会挨拶の瀬良代表幹事の浅岡 美恵さん(弁護士)より、「再生可能エネルギーの展望と電力問題」と題して講演が行われました。

《寄せられた感想より》



浅岡 美恵さんの講演風景

- ・たくさんの資料で具体的にわかる説明をいただき、今一番お聴きしたいことで参加して本当に良かった。
- ・他国に比べ、日本が遅れていることがわかった。もっと再生可能エネルギーを増やすことが大切。将来子どもたちが困らないように、私たちが今、できることをしていきたい。
- ・負担は耐えねばならぬとしたら、私たちは知る権利があり、学ぶ義務もある…ここに残りました。
- ・発電・送電の利権問題、発電量とCO₂排出量のバランスなど、長期的に時代に合った変化ができるシステムを作る必要があると思った。
- ・もっと時間を長くして、最後の方もゆっくり聴きたかった。等々の感想が寄せられました。

消費者大会宣言が満場の拍手で採択されました。



大会宣言案を読み上げる脇本 延子さん(岡山医療生協)



会場からは質問も…



閉会挨拶をする近藤代表幹事(青法協)

NPO法人消費者ネットおかやまから お知らせ

この度、NPO法人消費者ネットおかやまの事業活動に対して「岡山県消費者被害未然防止事業」の補助をいただくこととなりました。かねてより、「消費者被害なんでも相談会」など、消費者被害救済に向けた取り組みをしてきましたが、今回の補助で未然防止のための講演会や学習会の開催がより多く実施できるようになりました。

近々、実施予定の事業をご案内します。

☆消費者被害未然防止啓発講演会

10月29日 13:00～ きらめきプラザ

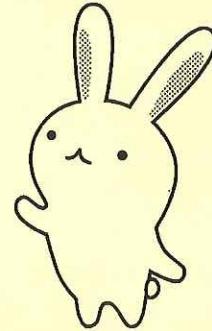
☆消費者力アップセミナー

11月15日 13:00～ ピュアリティまきび

☆テーマ別消費者被害未然防止講座 I

11月22日 10:00～ 岡山県生涯学習センター

11月25日 10:00～ コープ院庄



いずれも参加費は無料です。

お問合せ先：NPO法人消費者ネットおかやま事務局

TEL086-230-1316

ホームページ<http://okayama-con.net>にアクセスしてください

ご質問・ご要望はメールアドレス shounet@okayama.coopまでお願いします。

第12回 消費者被害なんでも相談会（無料）

☆不当勧誘、貸衣装・賃貸等不当契約などでお困りではありませんか？

☆有害サイトに接続して犯罪に巻き込まれていませんか？

☆その他、多重債務、建物・設計問題など、トラブルでお困りの方へ…

ご一報ください！ 会場にお越しください！

事前予約の必要なし 相談の時間制限なし 相談会当日は電話でも受付けています

とき 12月10日(土) 10時～15時

ところ きらめきプラザ

5階 県消費生活センター研修室

(岡山市北区南方二丁目13-1(旧国立病院))

岡山駅より北へ徒歩 約15分

きらめきプラザの案内図⇒

電話でご相談の方

086-801-4567 (当日のみ)

当ネット会員である弁護士、司法書士、建築士等が
ご相談に応じます。

どんなことでもお気軽にご相談ください！

お問合せ電話 086-230-1316 【NPO法人消費者ネットおかやま事務局(岡山県生協連)】



当面の行事など お知らせ のページ

開催日	行事名(会場・主催)	企画内容など
2011年	10月29日(土) 消費者被害未然防止講演会 (きらめきプラザ・消費者ネットおかやま)	「災害に便乗する詐欺商法」 講師:堺 次夫氏、ほか落語
	11月 3日(木) 第13回高齢者主張大会in岡山 (JA岡山ビル・県高齢者福祉生協)	「私も参加、地域の絆」をテーマに人生の達人が語る 県生協連も応援しています
	11日(金) 2012国際協同組合年事務局会議	
	12日(土) 蛍光管の適正処理をめざすフォーラム (オルガ・京都消団連・県消団連)	「我が国の水銀規制の現状と課題」ほか事例報告 講師:貴田 晶子さん
	15日(火) 消費者力アップセミナー (ピュアリティまきび・消費者ネットおかやま)	「あなたの常識、非常識?」 講師:広重 美希さん
	<p>毎日の生活の中で、自分では「フツー」と思っていること、一般的に 「大丈夫でしょう?」と信じていること、逆に「これは無理よね」とあきら めていること、結構ありますよね。 でも、そわってワタシ(だけ)の「フツー」かもしれませんよ。</p>	
2012年	22日(火) 消費者被害未然防止講座 (県生涯学習センター・消費者ネットおかやま)	「フィルタリングだけで安心?」 講師:筒井 愛知氏
	25日(金) 消費者被害未然防止講座 (コープ院庄・消費者ネットおかやま)	「フィルタリングだけで安心?」 講師:三宅 元子さん
	29日(火) 地方消費者グループ・フォーラム実行委員会 (広島・消費者庁・全国消団連)	消費者庁主催のフォーラムで、中国・四国ブロックの 消費者団体による実行委員会
	30日(水) 蛍光管リサイクル工場見学 (京都消団連・県消団連)	水銀抽出処理までの工程を見学(野村興産) マイクロバス オルガ10時発(無料)
	12月 3日(土) 第50回全国消費者大会 (東京・全国消団連)	「変えよう日本 つくろう未来~大震災から見えてきた、エネルギー・食料・住まい」をテーマに交流します。
	 <p>食べ物は 安全かしら?</p>	
	7日(水) 岡山県議会議員のみなさまとの懇談会 (オルガ・県生協連)	県生協連の役員と県会議員との懇談。今回が23回目。
	9日(金) テーマ別講座「消費者被害と風評」 (オルガ・消費者ネットおかやま)	「情報を冷静に読む力」 講師:松永和紀さん
	10日(土) 第12回消費者被害なんでも相談会 (きらめきプラザ県消研修室・消費者ネットおかやま)	会員の弁護士、司法書士、相談員など専門家が対応します。
	1月13日(金) 県連・会員生協役員研修交流会 (オルガ・県生協連)	「消費生活協同組合運営指導委託事業」の一環として実施。
2012年	25日(水) 【or2月1日(水)】 組合員活動交流集会 (オルガ・県生協連)	「安心して暮らせるまちづくり、防災・減災」をテーマに 講演と会員生協による活動報告を中心に交流します。
	27日(金) 地方消費者グループ・フォーラム (広島・フォーラム実行委員会)	消費者庁主催で、中国・四国ブロック9県の消費者団体による実行委員会のもと、団体相互交流と消費者行政の充実に向けて企画実施されます。

会員生協

倉敷医療生協

支部で班で「原発とエネルギー問題」学習



総代会の「特別決議」を受けて、8月から秋にかけて支部や班、職場で「原発とエネルギー問題」を考える学習会を行なっています。

ワイワイ ガヤガヤ 知らぬ間に知恵が!

自作の紙芝居を使って、どこででも気軽にできます。生活の見直しにまで話は及びます。

学んで楽し元気出た・生協学校

上半期は7つのブロックで、支部運営委員を対象に生協学校を開催。生協の基本的なこと、自生協の歴史、組合員活動などについて学びました。



修了証書を手に
知的な笑顔



三井造船生協

第18回三井生協杯ミニソフトバレー大会の開催

秋晴れの9月25日(日)、第18回三井生協杯ミニソフトバレー大会が玉野レクレセンターにて開催されました。45歳以上の部、44歳以下の部、男女混合のミックスの部に分かれ、それぞれ優勝をめざして戦いました。

学校生協

学校生協指定店会創立50周年記念行事

去る、8月4日岡山空港ゴルフコースにて指定店各社と学生協の共催で組合員の親睦を図る目的で第1回OTCゴルフコンペを開催しました。

猛暑の中で、参加者約40名の腕自慢が優勝を目指してプレー。

優勝の栄冠に輝いたのは68歳男性(退職組合員)の方、「私が優勝?信じられません。液晶TVもらっていいの?今日はいい思い出になりました。」との弁。



岡山医療生協

第3回「医療生協の介護実践交流会」を開催!



9月11日に行われた交流会では、医療生協のすべての介護事業所からの発表がありました。

ここでは、利用者や家族にどこまで寄り添い支援していくことができるのかが共通の課題となりました。

学習講演は「看護・介護職員の腰痛問題の現状と予防対策」
講師:塙田和史滋賀医科大学准教授



医療生協組合員を中心とした親子クラブがコムコム会館で
ハロウィンパーティー!

グリーンコーポ生協

子ども達の農業体験「ファームステイ」を実施!

牛への餌やり、子牛の世話や牛舎の清掃、またトウモロコシ収穫などの農畜産業の体験を通じて、改めて農畜産業の大変さや大切さを知る機会となりました。
(7月23・24日実施)



トピックス

「おかやまコープのハッピーフードパーク2011」は大盛況

10月1日(土)、「おかやまコープのハッピーフードパーク2011」がコンベックス岡山(岡山市北区)で開催されました。秋らしいさわやかな晴天に恵まれ、1万8千人の方にご来場いただき大盛況となりました。

昨年に続き2回目となる今年は、114の生産者・メーカーさんが出店。東日本大震災の被災地を応援するコーナーや、2012年の「国際協同組合年」にちなみ協同組合を紹介するコーナーも設けられました。



各エリアの組合員・メーカーさんが一緒にブースを盛り上げました。



東日本大震災被災地支援コーナーは終日ぎわいました。



有志職員による出店では、各チームの個性が光りました。

組合員・職員と生産者やメーカーの皆さん笑顔で交流し、「つながり」を実感した一日となりました。



「コープでワクワク おしゃべりパーティー」を開催!

2011年度下期、これまでの班会・テーマ活動にかわって初めて「コープでワクワクおしゃべりパーティー」に取り組みました。

これは、生協からお渡しする商品を囲んで気軽におしゃべりしていただき、組合員どうしはもちろん、広く地域のみなさんとのつながりや地域の絆づくりのきっかけとしてのおしゃべりの場を応援する企画です。

日頃いろいろな組合員活動に取り組んでいる委員のみなさんや宅配部門・店舗部門の職員が力をあわせて積極的に参加を呼びかけ、初めての取り組みでしたが、参加申込は目標としていた5万人を上回り、7万人を超えるました。

岡山大学生協 クリーンキャンパスの取組み

10月23日に、学内環境の美化という点から、福利施設の周りの美化活動を行いました。

グループに分かれて構内のゴミ拾い、福利施設前の花壇への花植え、ログテーブルのアフターケアなどを行い、皆さんに気持ちよく利用していただけるようしました。

また参加者向にゴミ分別のクイズを行ったりして、参加者に環境を考えもらう機会となりました。当日集まった参加者は、スタッフを含め約130名でした。



10月17日に岡山県に提出した要望書の要旨

1. 生協の育成・強化について

消費生活協同組合運営指導委託料について、現行金額の予算措置の「継続」を要望します。

2. 消費者行政について

- ①県の消費者行政部門の「自主財源」を確保し、国の補助事業の有効活用とともに消費者行政の充実を図ってください。
- ③府内に組織横断的な推進体制を設けるなど、消費者行政の一元化により機能の充実が図れるよう要望します。
- ③消費生活センターなど、消費者相談にあたる相談員の待遇改善、スキルアップなどのための財政面の強化を図ってください。
- ④消費者啓発の促進のためにも、消費者団体等との提携を図り、広報手段、予算措置等を含め、系統的に推進されることを要望します。
- ⑤「消費生活懇談会」の中間開催とあわせ、消費者に開かれた懇談会になるよう、あり方についてもいっそ改めて要望します。

3. 食の安全・食育について

- ①県民の食の安全に関するリスクコミュニケーションの充実を図ってください。例えば、各地方局ごとに「講座」を開催することをご検討ください。
- また、本県の「食育および食の安全・安心推進条例」について、条例の存在意義と役割などについても広く知らせてください。
- ②県内における放射線量測定の考え方、基準について県民への周知と影響調査の結果について、公表してください。
- ③食品への“テロ”“偽装”“不正転売”などについて、ひきつづき、社会システムの整備を図り、行政や関係機関の連携した対応を要望します。
- ④食中毒、各種食品検査結果等の情報提供、健康食品等の監視の強化とともに、食品表示に関する信頼性、正確性の確保に努めてください。

4. 災害対策について

- ①風水害、地震等を想定した対策・訓練、発災時における通信手段、民間等との連携、ボランティア受入れ等が緊密に図れること。県所管の防災ノウハウ、情報を県内の団体、企業、個人に伝え、自助、共助のもとでの公助の機能発揮のための施策整備を早急に図ってください。

5. 環境対策について

- ①「岡山県統一ノーレジ袋デー」の成果を県民のコンセンサスの形成につなげ、全県下の運動に拡がっていくことを願っています。
- ②県内の温室効果ガス排出について、各部門での自主目標等の見直しとともに、幅広い事業者や県民参加で計画化されることを求めます。

6. 保健・医療・福祉・介護・少子化対策について

- ①「救急医療の充実」や「産科、小児科の医師不足対策」を急ぎ、市町村の実態に即して体制・施設整備を図ってください。
- ②特別養護老人ホームなどについて。低負担で入所できる良質な介護施設の整備とともに、協同組合セクターを含む支援措置の検討を望みます。
- ③地域住民が認知症を学び認知症の方と家族を地域で支えていくために有効な「認知症サポーター」を養成する取り組みを更にすすめてください。
- ④介護員養成機関への助成と現任介護員に対する資質向上研修の実施、求職者と事業者の人材マッチング支援事業の強化充実を要望します。
- ⑤介護保険制度を充実させ、保険料については、本人収入を基本とする減免制度を拡充してください。
- ⑥ヒワワクチン予防接種とHPV予防ワクチン接種の制度化を国に要望してください。また、県として補助制度を創設してください。

7. 買い物弱者問題への対応について

- ①県下の地域生活インフラの整備成功事例の紹介とともに、全県的視野での短・中・長期プランについて、策定計画等の提示をしてください。
- ②「安心して暮らせるまちづくり」の地域生活インフラ像の整備をのぞみます。生協など民間事業者の参加機会が増えることで、行政と協働して取り組める状況が進展することを期待します。
- ③上記の①、②をめぐって、県民参加の情報・意見交換ができる場を積極的に設けるなどの支援をお願いします。
- ④地域生活インフラの整備とそこでの通信・施設・サービス等事業を行うにあたり、国の補助金交付制度等を活用して、効果的な支援を要望します。

8. 産消提携、地産地消運動について

- ①自給飼料の増産支援とともに、農政全般に関わって、再生産を可能とする「価格保障・所得補償措置」を実現するよう国に働きかけてください。
- ②新規に農業に携わる人や制度づくりへの支援とともに、生協と地場生産者との提携事業および県内の協同組合への一層の支援を要望します。
- ③農産物被害に係る鳥獣害対策について、関係部局の連携を図って、狩猟規制、生態系保全等と調和した対策がとられることを望みます。

9. 2012年の国際協同組合年について

- ①県内の協同組合とともにすすめる、「国際協同組合年」の諸取り組みに関して、格段のご支援、ご協力、参画をお願いします。